

USPTO、特許出願・出願管理システムの Patent Center への完全移行を実施

2023 年 11 月 15 日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、福岡

USPTO は、従来の特許出願・管理システム（EFS-Web）および出願人向けの特許情報検索システム（Private PAIR）が、特許の電子出願と包袋検索の機能を統合させたシステムである Patent Center に完全に置き換わったと 11 月 15 日に発表した¹。

Patent Center は 2017 年にリリースされ、ユーザーからのフィードバックを受けて改良が繰り返されてきた。当初は 2023 年 11 月 8 日から完全移行すると発表されていたが、米国知的財産権法協会（AIPPLA）をはじめとする多くの知財関係者より完全移行を延期するよう要請があったため、USPTO は従来のシステムの廃止日を 1 週間先送りし、11 月 15 日より移行すると発表していた。

知財関係者によると、Patent Center における特許発行料の支払機能に不具合が存在すること、従来のシステムでは提供されていた弁護士とその補助員がシステム間でやりとりが可能な機能が欠如していることなどを理由として、先送りが要請されていた。また、AIPPLA が会員向けに実施した調査によると、回答者の約 88% が Patent Center への完全移行の準備が整っていなかった。これらの懸念に対して、USPTO は、11 月 7 日付の Udupa 特許局長のブログ²において、弁護士と補助員間のやりとりに関する機能の改善やリアルタイムで利用者からの質問に対応できる体制を構築すると説明していた。

USPTO の Vidal 長官は、「従来のシステムに慣れ親しんだ人々にとって、変化が困難なものになり得ることは理解しているが、処理の改善と効率化につながる新しいテクノロジーの時代へシステム利用者とともに飛躍する準備はできている」と発言している。

また、USPTO は特許の権利移転の申請等に関するシステムである Electronic Patent Assignment System (EPAS) および商標に関する権利移転等に関するシステムである Electronic Trademark Assignment System (ETAS) を統合させて、2024 年 1 月 15 日から新たなシステムである Intellectual Property Assignment System (IPAS) のサービスを開始することを 11 月 9 日に発表した³。

IPAS では、USPTO の担当者が 1 つの安全なクラウドベースのシステムから権利移転等の申請のステータスを追跡し、データを記録し、通知を発行できるようになり、カスタマーサービスが強化されると USPTO は説明している。

(以上)

¹ Patent Center fully replaces USPTO legacy systems for filing and managing patent applications online

² <https://www.uspto.gov/blog/director/entry/improving-our-service-to-america>

³ USPTO's new modernized assignment system is replacing ETAS and EPAS